



豆苗

ある日の日曜日、リビングに入ってパッとつけたテレビが、たまたま誰もが知っている某アニメ番組だった。何気なくチャンネルをそのままにしていたらアニメの中の家族団らんの会話が聞こえてきた。なにやら“豆苗”について話しているよう。

“豆苗”はエンドウ豆(グリーンピース)の若い芽を摘んだもので、近年では季節問わず通年野菜として、スーパーや家庭でも日常的に見かけるようになった。緑黄色野菜として栄養価がとても高く、和・洋・中どの味付けで調理しても、またサラダなど生野菜として食べても手軽に美味しくいただけること、また何よりも物価高騰の今、価格が1年を通じてほぼ安定してリーズナブルなことが人気の理由なのかも…と、私が頭の中でそんなことを思いながら聞いていると、テレビの中の〇〇〇さん一家のおじいちゃんが、

『豆苗はな、昔は王様とか偉い人しか食べられなかったんじゃぞ。』
と言った。今や手軽に手に入り誰もが美味しく食べている豆苗だが、昔は偉い人しか食べちゃダメ！？豆の若芽を摘み豆苗として最初に食べ始めたのは中国で当時は一部の高貴な人や、お正月などの特別な行事でしか口にできない希少野菜だったそう。一般の食卓とは縁

遠い食材だったということだ。

また日本に豆苗が伝わってきたのは1970年代、日中国交回復以降、その後のパンダブーム以降だったそう。中国から来た可愛らしいパンダに日本人が歓喜した頃に日本に伝わり、今や高貴な人など関係なく誰もが美味しくいただける時代になったのにも関わらず、愛らしいパンダは現在日本には1頭もいなくなり、中国との国交やその類のニュースといえば…？

うーん…なんて言ったらええんやろ。なんだかなんとも言えない気持ちになってしまった。

国民的アニメの中の一家団らんの会話と、ちょうどその日の朝食に食べた豆苗サラダをきっかけに、コラムにつぶやいてみた。

『日本に住む日本人同士だけでなく、国と国同士はもちろん、誰でもが美味しいものや便利なものなど、私たちにとって良い情報や良いことは共有できたり、協力し合うことができる…そんな関係に世界中がなれるといいなあ。』

PN・ミーさん

